

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組（継続含む）
愛と笑顔が あふれる福祉村 一新	集 地 域 で 支 え 合 い、 ふ れ あ い、	高 齢 者	高齢者の孤立防止や社会参加、健康や体力維持に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション住民との交流を図ることが難しい。</li> <li>・人との接触を好まない高齢者への声かけがむずかしい。</li> <li>・地域行事の世話人の減少</li> <li>・高齢者の外出機会が減少し体力維持がむずかしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション住民に対し、地域行事への参加を促す</li> <li>・既存行事の周知による誘い込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション管理人との連携を図る</li> <li>・住民向け回覧チラシの作成（回覧方法、デザインの工夫）</li> <li>・ふれあいランチの継続</li> <li>・ふれあい・いきいきサロンの拡充</li> </ul>
			高齢者の生活課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活意欲が向上するような趣味や楽しみを持たない高齢者が多い</li> <li>・詐欺などの犯罪被害が増加している</li> <li>・免許返納後の移動手段が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に立ち寄ることのできる「集いの場」づくり</li> <li>・高齢者リーダー作り（マンション内も）</li> <li>・認知症サポーター養成講座の実施（ささえりあとの連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康マージャン</li> <li>・年末助け合い見舞い品配付</li> </ul>
			認知症高齢者に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の問題があり認知症高齢者に関する情報把握が難しい</li> <li>・認知症高齢者への接し方が分からない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症見守り隊</li> <li>・ささえりあ中央との連携</li> </ul>
	ま 障 が い 者 の 自 立 と 支 援 の	障 が い 児 ・ 者	障がい児・者の情報把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児・者に対する知識が乏しく障がい児・者への接し方が分からない</li> <li>・個人情報の問題があり、障がい児・者に関する情報把握がむずかしい</li> <li>・障害に関する行政の取り組みに関する情報が無い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいを含めた多様性の理解・啓発活動</li> <li>・多世代・多様な人が集う場所づくり（障がい当事者を交えた茶話会等）</li> <li>・障がい者が利用できる施設の周知</li> <li>・行政や民間団体の取り組みに関する周知</li> <li>・育成会や希望の家との連携（知的障がい・発達障がいに関する相談窓口、地域住民への啓発活動、体験学習）</li> <li>・学校との連携（学校行事を通して地域との繋がりづくり）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各種団体、各種施設及び民生委員との連携強化</li> <li>・一新校区福祉祭り、校区運動会等イベントの活用</li> <li>・校区全体で「障がい」をテーマとした話し合いの実施</li> <li>・体験学習会の開催（育成会との連携）</li> <li>・障がい者支援センターちゅうおうとの連携（障がい者サポーター研修の実施、地域配布物の依頼）</li> <li>・学校との連携（地域行事の周知）</li> </ul>
子 ど も の 地 域 が 育 て る	子 ど も ・ 子 育 て	子育て家庭への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の周知が行き渡っていない</li> <li>・個人情報の問題がありひとり親家庭に関する情報把握が難しい</li> <li>・子どもの遊び場がない(もしくは少ない)</li> <li>・虐待・ひきこもり・いじめ・不登校など外部から見つけることは難しい</li> <li>・共働き家庭やひとり親家庭において放課後の児童の居場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事に参加しやすい雰囲気づくり</li> <li>・居場所のない子ども達に対する新たな居場所づくり→子どもを介しての集いの場</li> <li>・子どもの遊び場づくり（小学校の運動場開放）</li> <li>・子ども食堂の検討</li> <li>・情報発信方法の工夫（掲示板、SNS、QRコード）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童見守り隊</li> <li>・子育てサークルの充実</li> <li>・不登校児童の見守り（いっぽクラブ）</li> <li>・子育て支援に対しての積極的協力</li> <li>・学校と藤崎台童園の連携（不登校児への取り組み）</li> </ul>	
常 に 備 え、 共 同 意 識 の 高 い ま ち	災 害 ・ 防 災	災害時における避難に関すること  災害時の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難経路における危険箇所が把握できていない</li> <li>・在宅避難をする場合に情報や支援物資が届くか不安である</li> <li>・ハザードマップに盛り込む内容が薄い</li> <li>・日常的なつながりが希薄な場合、お互いに情報が得られず支援が出来ない</li> <li>・家庭内の備蓄食糧の確保不足</li> <li>・避難訓練が出来ていないため大規模災害時に不安がある</li> <li>・近隣同士の助け合いが重要だと思うが、何をすればいいかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障がい者・子育て家庭に対しての、避難に関する情報の周知（回覧板の活用）</li> <li>・危険箇所等防災に関する地域情報の集約</li> <li>・災害時の対応について、町内毎の取り組み状況の把握とノウハウの共有</li> <li>・70歳以上の夫婦又は一人暮らし世帯への火災報知器の無償設置</li> <li>・災害時の避難等に関する周知を図る（町内毎のハザードマップ・避難経路の説明会の実施）</li> <li>・ハザードマップの定期的な更新</li> <li>・障がい者の避難場所の整備</li> <li>・防災意識の向上を図る（防災訓練の実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区全体に対しての防災情報の周知・啓発（自治協への働きかけ・連携）</li> <li>・地域の事業所との連携（情報の共有）</li> <li>・防災における関係団体、関係機関との連携強化</li> </ul>	
愛 着 を 持 っ て 新 生 地 域 に つ	暮 ら し 全 般	環境及び地域団体に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出しルールが守られていない</li> <li>・地域団体の活動内容が分からない</li> <li>・マンション等が多くコミュニケーションがとりにくく、交流が難しい</li> <li>・熊本城の景観という点も含め、マンション建設等により地元住民の暮らしの変化が著しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井芹川クリーン大作戦等を通じて世代間交流を図る</li> <li>・SNSを通じて情報伝達を工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井芹川クリーン大作戦</li> <li>・チャリティー餅つき</li> <li>・城下町菓子博</li> <li>・各種団体、地域行事の情報発信</li> </ul>	